

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、14～20℃台を示し、かなり低めからやや低めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網---西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり25トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げ（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり22トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣---スルメイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり80kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり2.7トンの水揚げで、前週の63%（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり7kgの水揚げで、前週の47%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり464kgの水揚げで、前週の72%（前年並み）。
- 定置網---五島有川地区では、マサバなどが1日1統当たり191kgの水揚げ。五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり488kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ブリなどが1日1統当たり96kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり505kgの水揚げ。
- 一本釣---北松宇久地区では、イサキが1日当たり282kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年を下回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり9kgの水揚げで、前週の1.8倍（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（5/1～5/9の9日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、切上中。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬及び山口沖、島根半島沖で僅か水揚げあり。

鳥取県西部（沖合船）1日延1隻、総計130箱、スルメイカを漁獲、魚体は（20～40入）。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>